英国の「クリエイティブ産業」政策

知識社会のイノベーション戦略

一橋大学イノベーション研究センター 特任講師　木村めぐみ

Creative Industries Policies

「クリエイティブ産業」政策とは？

文化産業やデザイン、広告、ソフトウェア等産業の振興策であるかのように論じられることが多いが....

英国の「クリエイティブ産業」政策は....

知識社会のイノベーション政策と呼ぶことができる、工業社会とは異なる、１）競争、２）問題、３）労働についての政策である

英国「クリエイティブ産業」政策の20年

1997-2005 → 2005-2007 → 2007-2010 → 2010-現在

労：トニー・ブレア[1997-2001, 2001-2005, 2005-2007]

労：ゴードン・ブラウン[2007-2010]

保：デイビッド・キャメロン[2010-2016]
保：テレサ・メイ[2016-]

1997- 文化・メディア・スポーツ省(DCMS)
クリエイティブ産業タスクフォース(CITF)　2005-2007 クリエイティブエコノミープログラム

貿易産業省（DTI）

→2007-イノベーション・大学・技能省（DIUS）→2009ビジネス・イノベーション・技能省（BIS）
→2007- ビジネス・規制改革省（BERR）→

2005年　ロンドン同時爆破事件
ロンドンオリンピック開催決定

2012年ロンドン・オリンピック
2014年スコットランド独立住民投票
2016年欧州連合離脱是非を問う国民投票

草創期 → **転換期** → **進展期**

ブレア政権期の「クリエイティブ産業」政策[1997-2007]

文化産業やデザイン, 広告, ソフトウェア等産業の実態を通じて,工業社会から知識社会への移行に伴う課題の検討

・CITF (1998, 2001)

Creative Industries Mapping Document

クリエイティブ産業: 個人の創造性、技能、才能を源泉とする、知的財産の生成や活用を通じて富や雇用を創出する潜在力をもっている産業

①広告
②骨董
③建築
④工芸
⑤デザイン
⑥ファッション
⑦映画
⑧レジャーソフトウェア
⑨音楽
⑩舞台芸術
⑪出版
⑫ソフトウェア
⑬テレビ・ラジオ

（1998年の場合）

・貿易・産業省（2005）『創造性、デザイン、事業成果』

・大蔵省の要請を受けた、デザイン・カウンシル議長（2005）

『ビジネスにおける創造性についての 報告』

・文化・メディア・スポーツ省 (2005-2007)

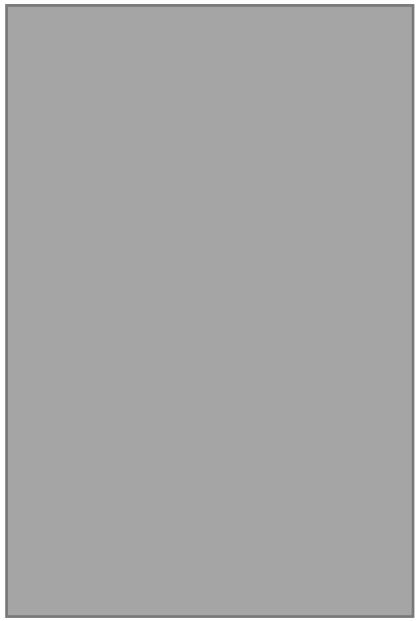
「クリエイティブ・エコノミー・プログラム」

ブラウン政権期の「クリエイティブ産業」政策[2007-]

大学や産業に蔓延る知識社会特有の問題の解決に向けた動き

「デザインエンジニアリング」

「リテイルテインメント」の推奨



二つの文化

C.P. スノー

芸術大学と総合大学による

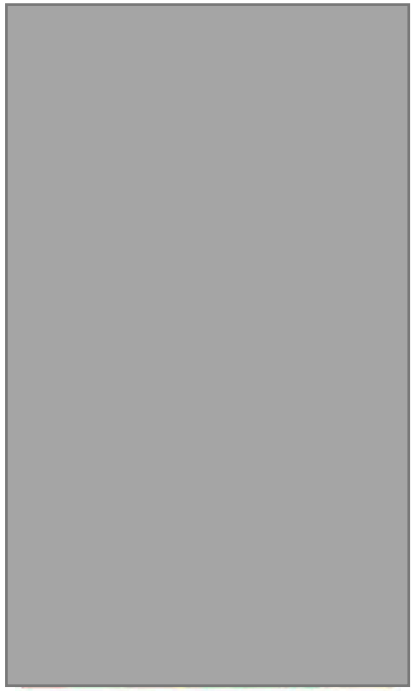
「イノベーショントライアングル」人材育成

ロンドン芸術大学

イノベーションマネジメントコース

「クリエイティブ産業」政策の目的と背景

知識社会のイノベーション政策と呼ぶことができる、
工業社会とは異なる、１）競争、２）問題、３）労働についての政策



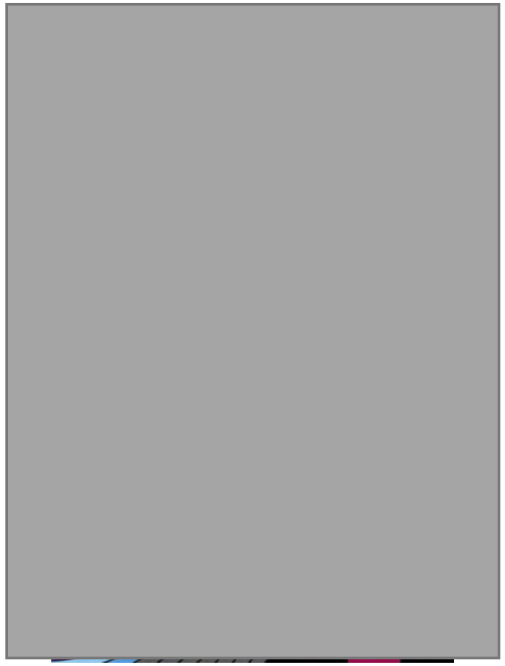
Creative Britain

(1998)

By Chris Smith

産業革命以前、科学とアートは、同じコインの2つの側面であった。当時の偉大な精神をもつ人々は、これらの創造的な分野を超越している。レオナルド、ミケランジェロ、ベルニーニ、ブルネレスキを考えれば、彼らの芸術的な才能は、彼らの技術的な偉業と、彼らの絶え間ないイノベーションへの希求と融合した。…科学の探求の時代には、哲学、人文学や文化的な偉業が同時に起きている。**しかし、産業革命は、認識を根底から変えてしまった。科学やテクノロジーこそが世界を変え、…創造性の役割は重視されなくなった.**

(Smith 1998, 112)



Creative Britain

(2008)

By DCMS, DIUS, BERR

創造性研究における「二つの文化」

芸術人文学的な「創造性」研究	分	伝統（心理学）的な創造性研究
2000-欧州を中心に		1950s-米国心理学を中心に
技芸・芸術・文化への注目		科学・技術・経済の発展への寄与
ARTS 技芸・芸術		SCIENCE 科学
DESIGN デザイン	断	ENGINEERING エンジニアリング・技術

創造性の民主化運動としての「クリエイティブ産業」政策

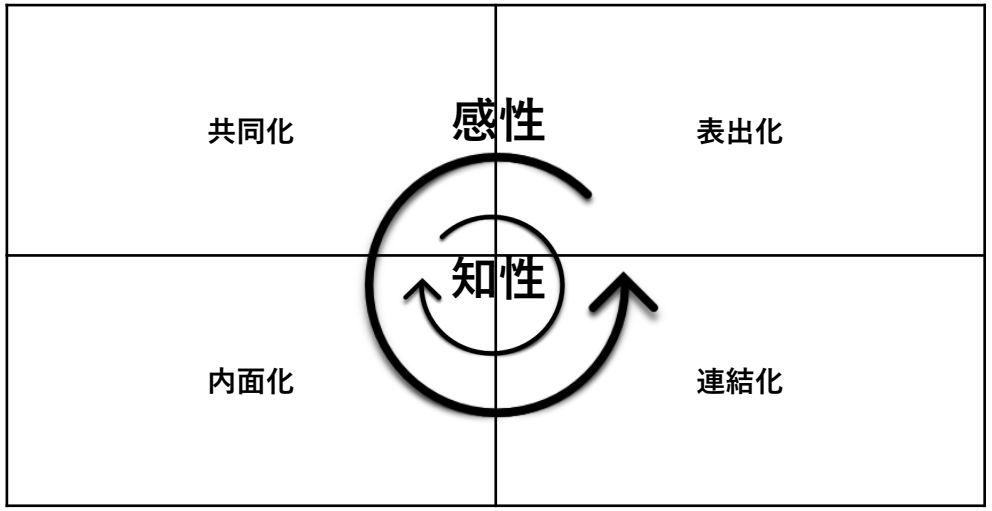
スミス大臣のいう創造性=天才や神格化された才能・技能

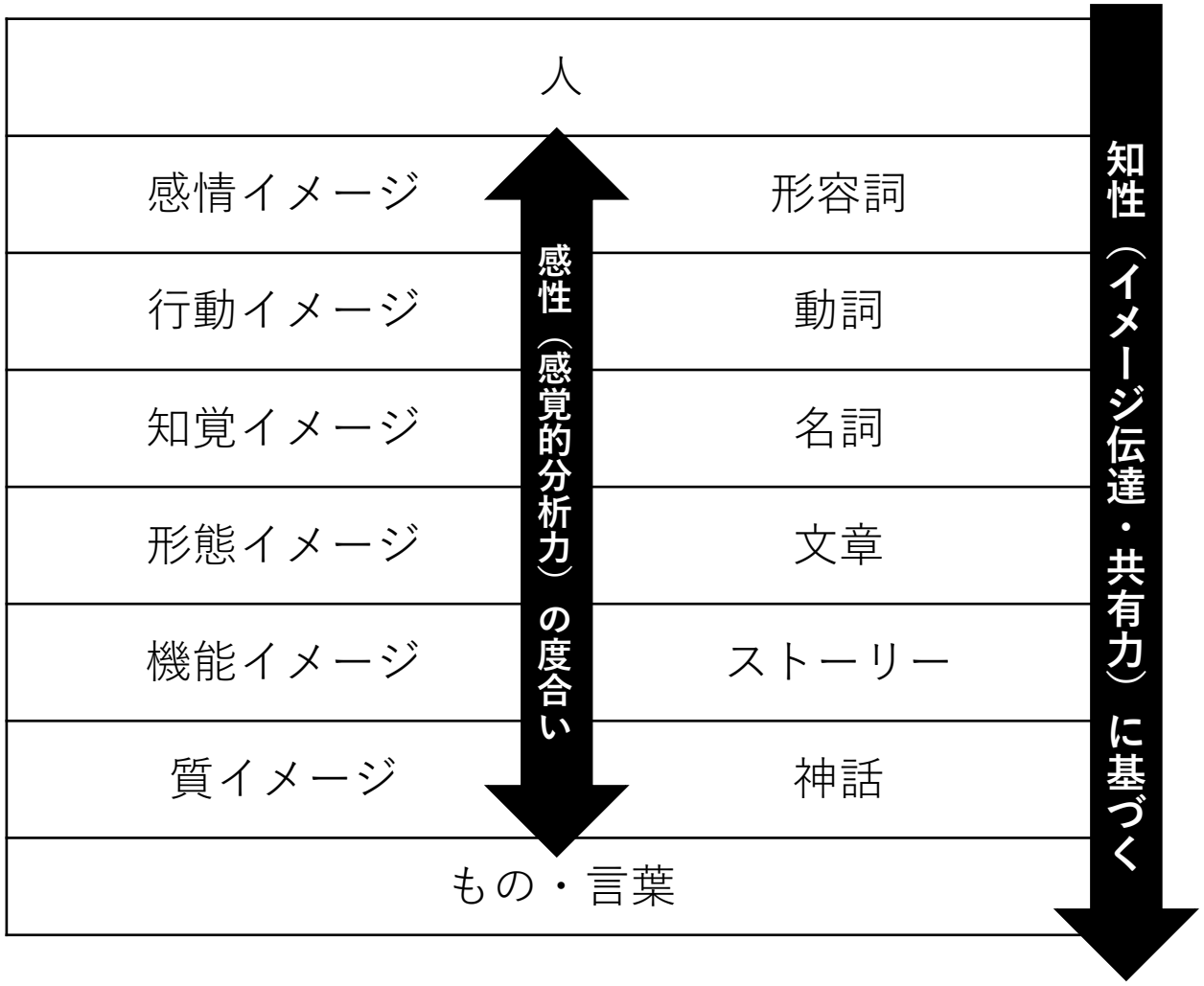
伝統的な創造性研究は、天才の研究に始まったが、その解明の前に、
経済・経営や日常の創造性についての議論に応用してきた。

知識社会の競争戦略としての
クリエイティブ産業政策

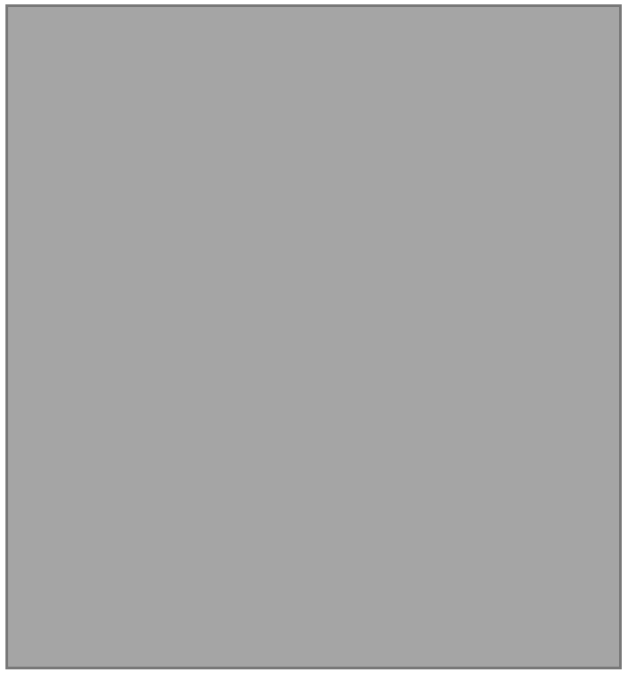
共同化 （暗黙知→暗黙知）	**表出化** （暗黙知→形式知）
内面化 （暗黙知←形式知）	**連結化** （形式知←形式知）

野中・竹内(1996)「知識創造企業」





知識社会の問題解決策としての
クリエイティブ産業政策

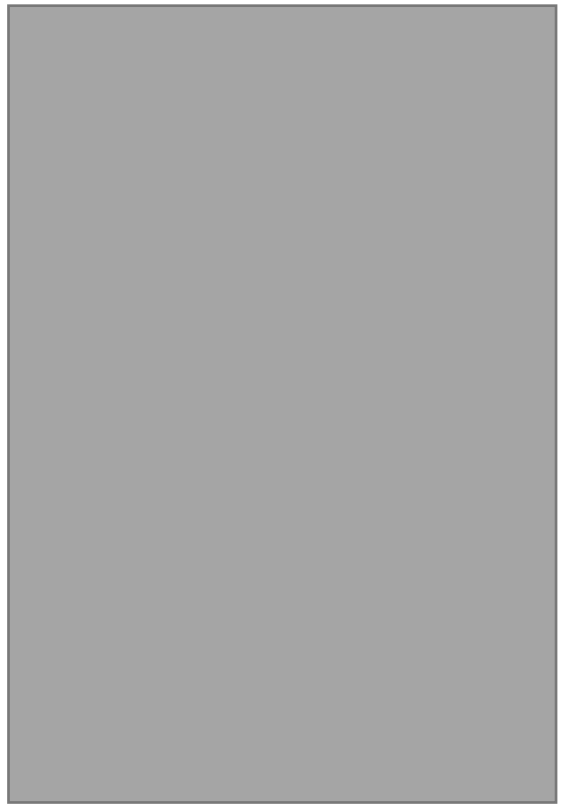


知識人は、生まれながらのラッダイト

1959

二つの文化

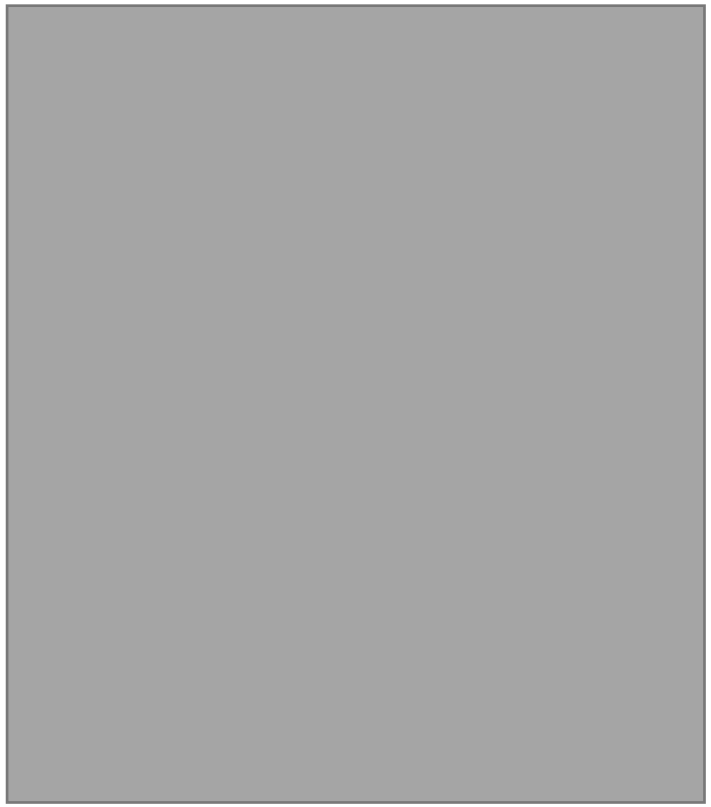
C.P.スノー



1966

暗黙知の次元

M. ポランニー

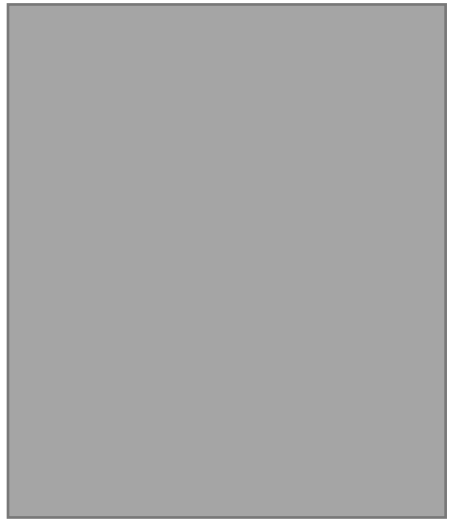


2015

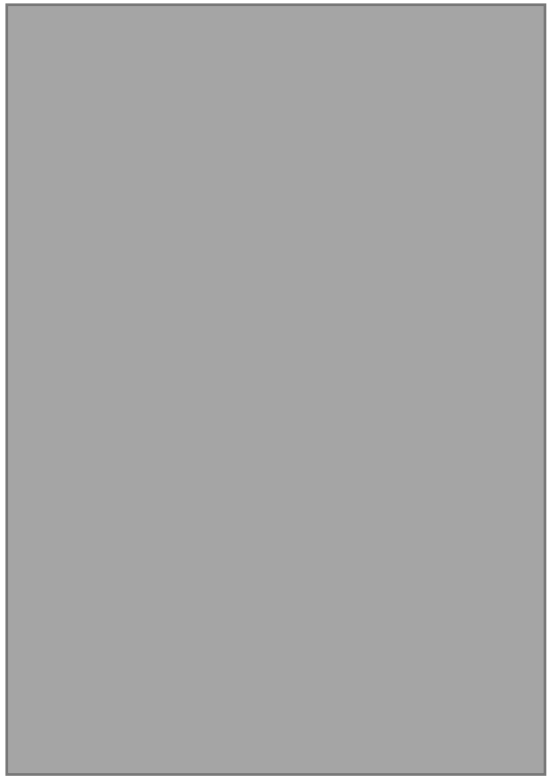
サイロエフェクト

ジリアン・テット

「クリエイティブ産業」という労働ビジョン



Tony Blair



「スチームエンジンの発明や、大量生産に必要だった全ての方法と比較すると、
私たちは新しい産業革命の時代に入った」

まとめ

（１）「クリエイティブ産業」政策は、文化産業やデザイン、広告、ソフトウェア等産業の振興策であるかのように論じられることが多いが....

知識社会のイノベーション政策と呼ぶことができる、工業社会とは異なる、１）競争、２）問題、３）労働についての政策

（２）知識社会の競争資源は、これまで知識だと思われてきたが、知識は常に創造の結果であり、

知識社会でイノベーションを実現するには、

知性と感性を高める戦略と組織づくりが不可欠である。

（知性を高める感性の働き、知性と感性の相互作用、その結果としての知識の質）